査読
チェックポイント

2025年7月

Fujita Medical Journal編集委員会

1. 科学的な品質

Fujita Medical Journal（FMJ）では結果の新規性自体は掲載可否において重視しないこととしていますが、論文構成の科学性、目的の妥当性、方法が具体的で正確か、結論に飛躍がないか、考察は十分か、など科学論文としての要件を満たしていることは重視しています。以下の項目で「あてはまらない」ものがある場合は、その具体的な内容を査読コメントに記載願います。

	十分にあてはまる	あてはまる	あてはまらない
* 研究目的は明確に述べられており、その内容は論理的か。	◉	○	○
* 研究を実施する根拠、研究の必要性は明確に示されているか。	◉	○	○
* 研究方法の項は、実験が再現できるほど詳細に記述されているか。	◉	○	○
* 研究デザインはしっかりとしたもので、述べられている研究目的の達成にかなったものか。	○	◉	○
* 結論は結果に基づいて導き出されているか。	◉	○	○
* 図表、supplementary dataは適切か。	○	○	◉
* 考察の項は批判的で網羅的な内容となっているか。	○	◉	○
* 参考文献には最新のものが引用されているか	◉	○	○
* 参考文献には研究に必要な文献のみに厳選され、その数は適切か • Original article: 50文献以内 • Short report, Case report, Study protocol, Cohort profile: 30文献以内 • Letter to the Editor: 10文献以内>	◉	○	○

2. 研究倫理

FMJでは論文の投稿時に、倫理審査委員会受審の有無、審査番号、症例報告の場合は対象者の同意や個人情報の保護方策について、著者からの開示情報を確認していますが、査読時に論文の記載事項から問題を発見した場合にはチェックしてください。

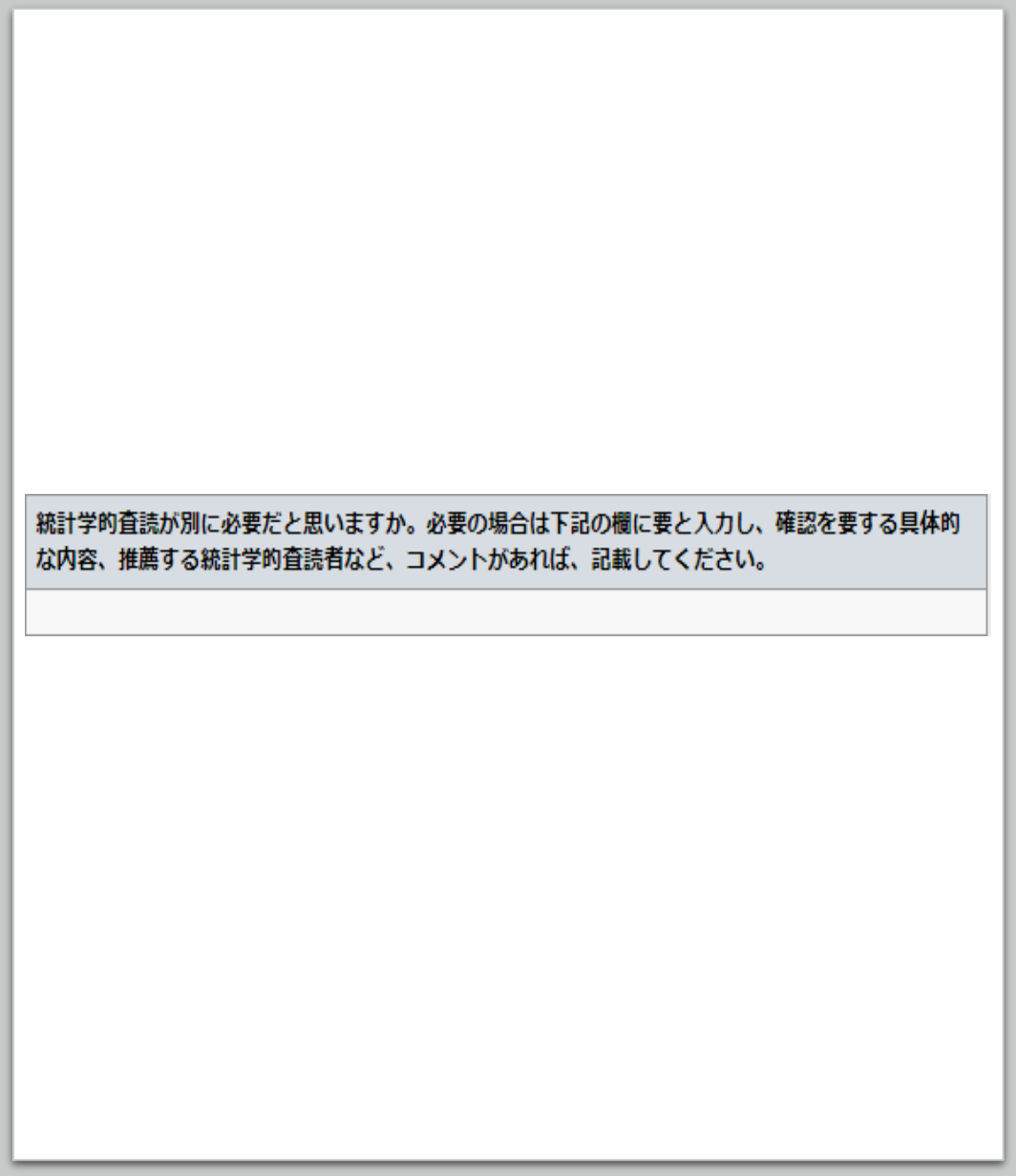
3. 研究不正

FMJでは査読システムScholarOne Manuscripts内に剽窃検知ツールiThenticateを実装しています。

担当編集委員が判定にあたって、その結果を参照しますが、査読者が研究不正に関して問題があると判断した場合には、該当項目にチェックしてください。

4. 統計学的査読の必要性について

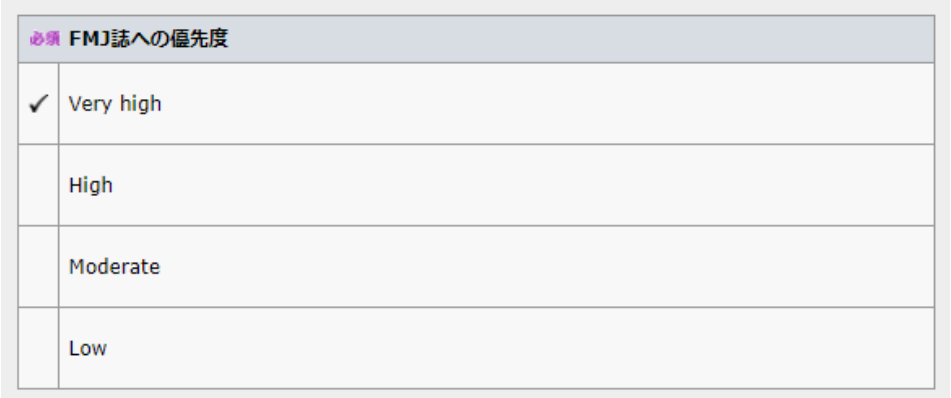
多くの論文で統計解析が実施され、その結果に基づいて結論が導かれています。統計学的解析手法の選択や解釈、データの取扱いについて専門的な査読が必要と考えた場合には、その旨ならびに具体的な内容を記載してください。編集委員の確認、最終的な要否判定後に、統計学的査読者に査読を依頼します。



5. 掲載優先度

研究方法や結果の記述に問題がない場合でも、知見に対する掲載の意義の高低に対する査読者の判断を尋ねています。

FMJでは結果の新規性は掲載判定にあたって重視しないこととしています。



必須 FMJ誌への優先度	
✓	Very high
	High
	Moderate
	Low

6. 当該論文の紹介文、論説(Editorial)を推薦するかどうか

推薦頂ける場合、査読者に執筆を依頼する場合があります。

査読者・編集委員等による紹介文(Editorial)推薦の有無	
	有
✓	無

7. 修正原稿の査読

査読者による修正原稿の査読が必要かの判断を記載して下さい。

入力欄に※注記があるように、査読者による要否の判断によらず、編集委員会から再依頼させて頂く場合もございます。

8. 判定

1回目の判定でAcceptは稀です。

AcceptとRejectの他に、

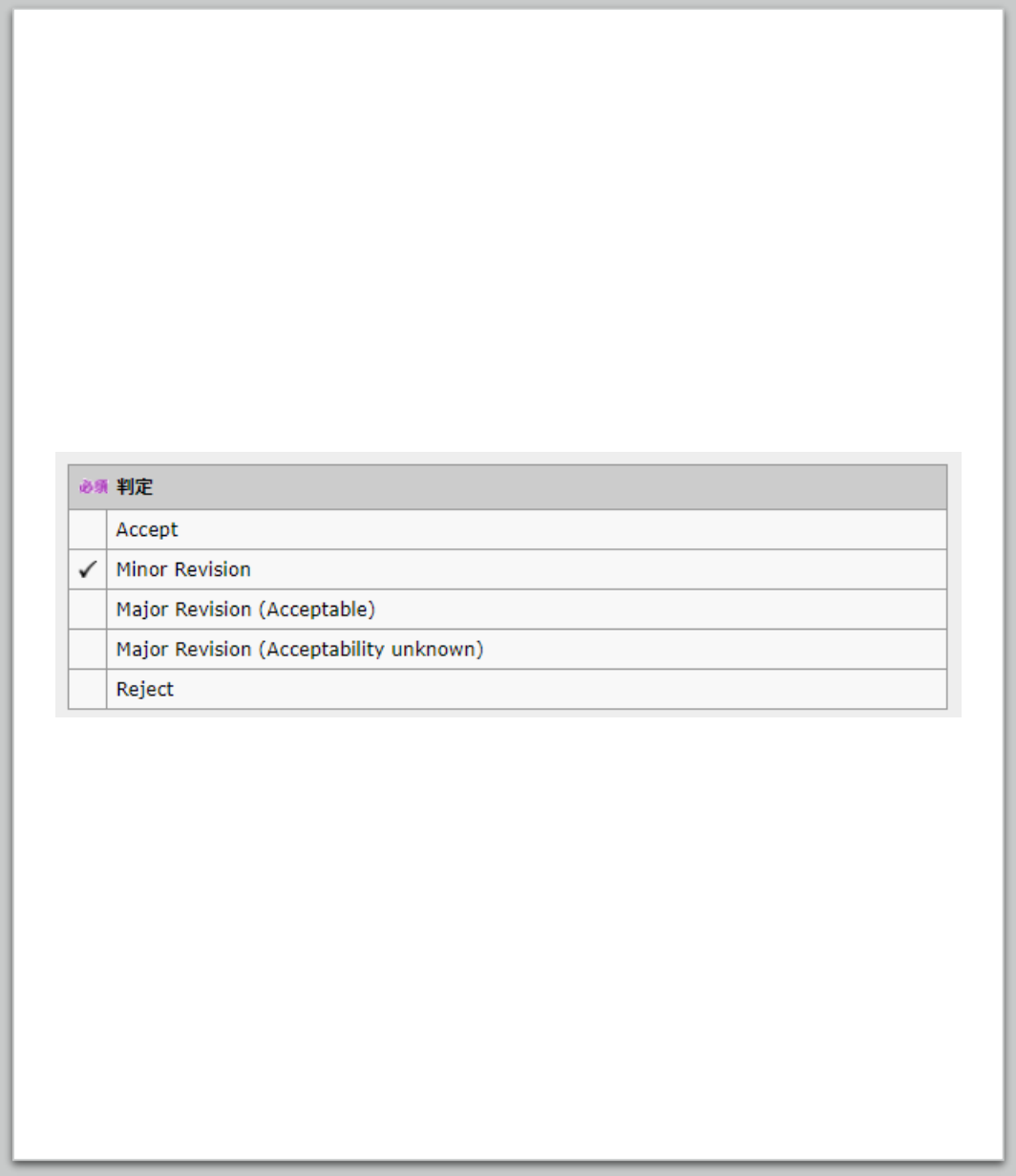
Minor Revision、

Major Revision (Acceptable)、

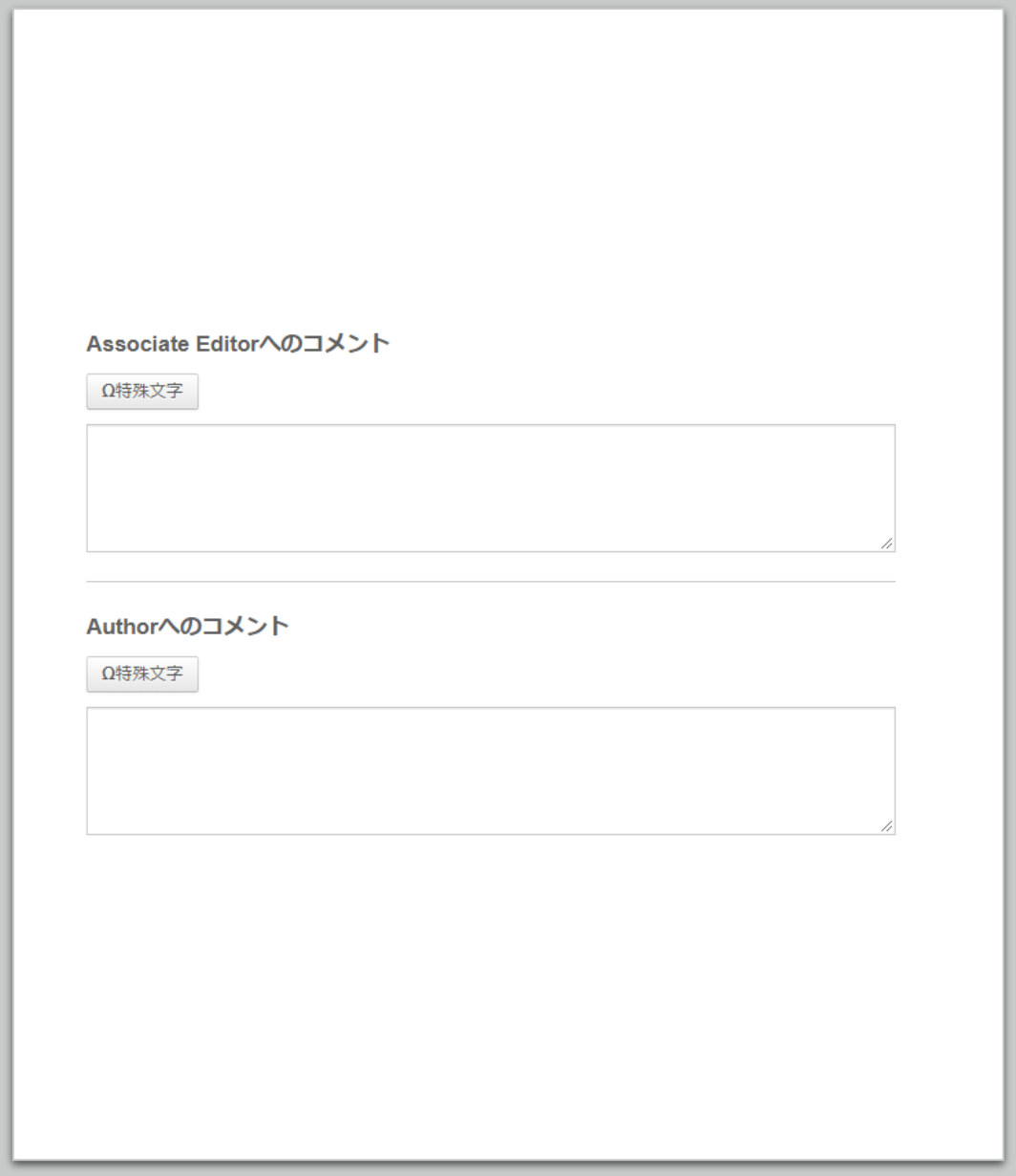
Major Revision (Acceptability unknown)

の3つの修正の必要性の程度を考慮した段階的な判定があります。

通常2名の査読者の判定結果を参考に、編集委員会が原稿を総合的に判断し最終判定を行います。最終判定において、それぞれの判定に対して、異なる修正期間が著者に与えられます。



9. 具体的なコメントの入力

編集委員へのコメントは著者には開示されません。採否に関する特記事項や、著者に開示しない意見等がある場合に記載してください。

著者への回答の記載については、論文について評価している点や、修正が必要な点を具体的に記載してください。